

それ行け代陽っ子

八代市立代陽小学校学校便り

令和4年6月20日(月)発行【第4号】

自分たちの住む地域 について学びました

～校区探検・福祉体験～

2年 まちたんけん



3年 町探検



4年 福祉体験



職員研修で救急救命講習会を実施しました

6月7日(火)、本校の職員で救急救命講習会を行いました。

プールでの水泳学習が始まることを受け、万が一の場合に落ち着いて適切な対処が行えるように、心肺蘇生の方法やAED(自動体外式除細動器)の使い方等を学びました。小グループごとに、傷病者の発見、意識の確認、応援要請、胸骨圧迫、電気ショックの一連の流れを体験し、各自の気づきを交流しました。

救急救命に関する職員のスキル向上を目的に今回の研修を行いました。しかし、水泳の授業における事故の未然防止は何よりも大切なことです。本校では、家庭及び学校での健康観察の徹底、プールでの授業時の職員複数体制での観察などを行い、不慮の事故を防ぐための対策をとっています。日常生活における熱中症予防の対策と併せて、児童の健康をしっかりと守っていきたいと思います。



「学力は知識や技能の量ではなく、行動や経験であり、生きる力である」

6月も後半に入り、早いものであと1ヶ月で夏休みに入ります。本年度の学校教育目標「主体的に学び、正しく考動する、代陽っ子の育成」に向け、子供たちも先生方も毎日がんばっています。特に教室のあちこちから子供たちの「はい」という元気な声が聞こえ、積極的に手を挙げ発表しようとする態度が見られます。

冒頭にもあったように、子供たちは地域の方々や行政の方々の協力により、校内外で貴重な体験ができています。教室で学んだ知識や技能を、どう実際の生活に生かしていくのかがこれからは重要です。小学校教育に導入された英語についても、知識だけでなく英語を使ってどうコミュニケーションを図っていくのかが評価されるようになってきました。学んだことは体験や行動を通じて生きる力になっていきます。このことを子供たちにも実感して欲しいと思うとともに、世の中をたくましく生き抜く子供に育てて欲しいと願っています。